

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【公開番号】特開 2002-265237 (P2002-265237A)

【公開日】平成 14 年 9 月 18 日 (2002.9.18)

【出願番号】特願 2001-62874 (P2001-62874)

【国際特許分類】

C 0 3 C 27/06 (2006.01)

H 0 1 J 9/26 (2006.01)

H 0 1 J 17/18 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 27/06 1 0 1 C

H 0 1 J 9/26 A

H 0 1 J 17/18

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 17 日 (2007.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

リアパネル側製造ライン 1 3 0 は、搬入室 1 3 1 と、脱ガス室 1 3 2 とを有している。脱ガス室 1 3 2 は、搬入室 1 3 1 と位置合わせ室 1 1 1 との間に配置されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

各赤外線ヒータ 7 7 は、棒状の集光反射鏡 7 8 を有している。集光反射鏡 7 8 は、その側断面図を図 5 (b) に示すように形成され、開口 7 9 で外部に通じる空洞 8 8 を有している。空洞 8 8 内部には赤外線ヒータ 7 7 が配置されており、赤外線ヒータ 7 7 から赤外線を発すると、発せられた赤外線のうち、開口 7 9 側に放射された赤外線は開口 7 9 から放出され、集光反射鏡 7 8 の表面に放射された赤外線は集光反射鏡 7 8 で反射された後に開口 7 9 から放出された結果、開口 7 9 から所定距離をおいた焦点で集光されるように構成されている。